

JA夢みなみ

ミニディスクロージャー誌

2017



JAのプロフィール

◇設　　立	平成28年3月
◇本店所在地	須賀川市大町85
◇出　資　金	5,279百万円
◇総　資　産	200,635百万円
◇組　合　員　数	31,037人
◇役　員　数	36人
◇職　員　数	548人
◇支　店　数	23支店

— 目 次 —

1. 基本方針・経営理念	1
2. 事業の概況（平成28年度）	3
(1) 主な事業実績の推移	7
(2) 収益の推移	7
(3) 貸借対照表	8
(4) 損益計算書	9
3. 地域貢献情報	10
4. リスク管理の状況	11
5. 自己資本の状況	13
6. 主な事業の内容	
(1) 主な事業の内容	14
(2) 系統セーフティネット（貯金者保護の取組み）	19
7. 店舗等のご案内	20

1 基本方針・経営理念

基本方針

国内経済は、日本銀行のマイナス金利政策により金融機関の経営は厳しい傾向が続く見通しであり、世界の政治・経済は米国の政権交代、イギリスのEU離脱等大きく揺れ動いています。

農業を取り巻く環境については、高齢化による農業者の担い手減少等により、農業生産基盤の脆弱化が進んでいる傾向にあります。さらに、原発事故による県内の農畜産物の風評被害は根強く、取引価格が回復せずに固定化する等、農業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。

また、米国の環太平洋連携協定（TPP）離脱で協定発効は絶望視されておりますが、今後は二国間協議による日米自由貿易協定（FTA）等により一層に厳しい条件での交渉が懸念されております。

こうした中、当JAは合併二年目を迎え、JA自己改革の基本目標である「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」への取り組みを加速し、スケールメリットを活かした事業展開と業務の効率化を進め、持続可能な農業と豊かでくらしやすい地域社会の実現をめざします。また、組合員・利用者とのふれあいを強化し、地域社会に根ざした取り組みにより組合員・地域から選ばれる組織づくりを役職員一体となって進めてまいります。また、コンプライアンス態勢の強化により、さらなる経営の健全性・透明性の確保を目指します。

経営理念

- ・安心して暮らせる「幸せづくり」を基本とします。
- ・地域の「柱」となり、特色ある農畜産物づくりをすすめ、「選ばれるJA」をめざします。
- ・地域農業を未来へつなぐ「懸け橋」となります。

将来ビジョン

- ・地域社会に根ざし、ともに助け合い、健康で心豊かな暮らしづくりに貢献します。
- ・多様な地域性を活かした農畜産物生産と特色ある「もの」づくりを振興することにより新たな農業を創造し、地域から選ばれるJAをめざします。
- ・「スケールメリット」（量）及び「専門性」（質）を発揮し農業生産力の増強による農家所得の向上に寄与します。
- ・「食」と「緑」と「水」を守り続け、この豊かな大地を次世代へつなぐ懸け橋となります。

新JAのキャッチコピー

“地域の懸け橋”それが私たちJAです

事業方針

1. 営農指導事業・販売事業

組合員の営農と生活を守り、地域農業の振興に取り組むとともに、地域で育てきた「農畜産物ブランド」の承継と「夢みなみブランド」の育成をし、農家所得の増大が発揮できる事業に取り組みます。また、共計共販体制の構築に向け協議を加速し、各連絡協議会との連携を図りスケールメリットを発揮できる販売の展開と、地域行政との連携したトップセールスを開催し、引き続き風評払拭に向けた活動を実施して参ります。

2. 購買事業・生活関連事業

購買事業につきましては、各種生産関連資材の低コスト化と安定供給へ向けて予約購買の推進、取り扱い商品の集約によるスケールメリットの発揮と省力化に向けた取組みを実践し生産コストの低減に寄与し生産者を支援して参ります。

生活関連事業では各施設を拠点としたサービスの提供、地域のニーズを取り入れた事業や健康志向に配慮した事業を展開し組合員の暮らしを支援します。

3. 信用事業

信用事業の基本となる農業メインバンク機能の強化を図ることにより、農業経営を後押しするための提案及び情報を提供することにより、農業資金対応力強化を図ります。

また、生活メインバンク機能を発揮し、ライフイベント・ニーズに応じた顧客軸に基づく事業推進を図り、取引の質的向上を図ります。

4. 共済事業

「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通じて、組合員・利用者等の信頼と期待に応え、安心と満足度の向上や生涯にわたる豊かな生活保障の確立に努め、「しあわせの輪」を広げる事業を展開いたします。

また、既加入者に対する「3Q訪問活動」及び未加入者に対する「はじまる活動」を通じて、世帯に深く地域に広い推進活動の展開により、接点強化と保障拡充に取組み、組合員・利用者等の万一保障・生存保障拡充に取り組んで参ります。

さらには、仕組改訂を活用した次世代対策と保障拡充に取組み、全ての世帯に対してニーズに沿った丁寧な推進活動を実践し、組合員・利用者等との強固な信頼関係を築くことにより、地域における保障充足を図って参ります。

5. 監査部門

監査体制

①監事監査

監事監査基準に基づき、監事の職務と責任を認識のうえ、内部監査部署およびJA全国監査機構等との連携を図りながら、経営・事業運営・財務会計の全般にわたり、適法性・適正性・妥当性の観点から、効率的に監査を実施します。

②内部監査

内部監査規程に基づき、業務の健全性および適切性を確保するため、内部管理態勢が有効に機能しているかの検証と改善を重視した助言・提案を行うとともに、不祥事未然防止に徹底して取組みます。

6. 総務企画部門

JA夢みなみが発足し1年が経過しましたが、農業・JAを取り巻く環境は依然とて厳しく、原発事故による風評被害、農業者の高齢化や後継者不足による農家組合員の減少などがJAの事業活動に大きな影響を与えています。

この様な中、JA合併により大規模化した「人、施設、資金、そして情報」といった有形・無形の経営資源を有効かつ有機的に活用し、安定的かつ高水準の事業・活動を継続的に提供するとともに、健全経営の確立と財務基盤の充実に取り組んでまいります。また、農業・暮らし・JA事業のあらゆる面から地域貢献活動へ積極的に取り組み、豊かで安心して暮らせる地域社会づくりに貢献します。

さらに、協同組合理念を踏まえJA運動を担い、かつ専門性を発揮する高度な人材を育成することで組合員・地域住民からの多様な要望・期待を充足し、これまで以上に満足度向上を図り「選ばれるJA」を目指してまいります。

2 事業の概況（平成28年度）

平成29年 2月28日現在

信用事業

平成28年度は、マイナス金利導入による貸出金・国債等の利回りの低下など、地域金融機関を中心に収支に影響がありました。

そのような金融情勢の中、合併事業計画の初年度として、農業メインバンク機能を強化し、地域農業の発展に貢献するとともに、生活メインバンクにおいても、利用者軸に基づく事業推進の転換を図り、地域の皆様に安心して利用いただけるJAバンクを目指して取り組みました。

事業実績は、貯金については、「ナツクキャンペーン」「ホクホクキャンペーン」等を通じ、組合員地域の皆様が安心して利用いただける金融機関をめざし、良質で安定的な貯金残高の増強に努めた結果、年度末貯金残高1,789億50百万円、計画対比101.3%の実績となりました。

貸出金については、農業関連資金の取扱い拡大や、復興応援金利による住宅ローン・マイカーローン・教育ローン等生活資金への積極的な対応に努めた結果、新規実行では計画対比140.7%と計画を大きく上回る実績でしたが、貸出金残高は地公体の大口償還もあり計画対比98.8%の実績となりました。又、不良債権の管理・回収を強化して財務の健全化にも努めました。

（単位：千円）

区 分	金 額
貯金	178,950,204
預金	129,622,691
貸出金	39,867,671
有価証券	3,322,368
国債	1,941,660
地方債	1,380,708
政府保証債	-
金融債	-
内国為替取扱高	仕向 66,999,301
	被仕向 85,584,240

共済事業

東日本大震災から6年が経過し、復興が進んでいるものの県内においては、原発事故の影響により県内農産物に対する風評被害は、現在も依然として払拭されておられません。加えて、規制改革の名のもと、農協改革が着々と進められており、農業、JA共済事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の中、JA夢みなみ初年度として組合員・利用者の生活を守り、万一来るべく共済の重要性、JAの有利性を訴え事業を展開してまいりました。

3Q訪問活動を通して、恒常推進ならびに一斉推進活動を組合員はもとより地域利用者へ積極的に取り組みましたが、長期共済新契約高は417億円、保有契約高については8,940億円の保障実績となりいずれも目標達成には至りませんでした。

尚、共済金の支払については、満期共済支払金額は48億円、長期・短期共済金支払金額で、33億円の支払を致しました。この共済金の支払は、契約者の皆さまからお預かりした共済掛金からお支払しており、「助け合う」というJA共済の事業理念が結実し、組合員・地域利用者の生命、財産を守る使命を果たすことが出来ました。

（単位：件・千円）

区 分	件 数	金 額
長期共済保有高	117,007	894,082,801
長期共済新契約高	8,890	41,733,944
短期共済新契約件数	79,711	-
共済金の支払	長期	7,072,290
	短期	1,098,754

購買事業

○購買事業

生産購買は春の各フェアの開催や追肥時期の需要期に併せた特売セールを全地区で開催し銘柄により安値での供給に努め、また水不足により問題となった残雑草対策の相談会も統一して実施し参加者から好評を得ました。生産コストの低減に向けて秋には予約注文書の統一を図り価格の引き下げを実施し、新たな奨励措置の設定と併せて予約購買のメリット啓蒙や商品紹介等を目的とした相談会の実施や推進を図って参りました。

生活購買関連では各地区の取り組みによる飲料水の推進や食材等の食料品、健康器具の取り扱拡大を図って参りました。また、きもの等の総合展示会を全地区で開催し、全地区とも目標額を上回る供給金額となりました。

購買品全体の供給実績は、肥料、農薬の値下げの実施、供給金額の多い燃料の価格安もあり計画対比で96.8%となりました。

○福祉事業

合併に伴い福祉職員の雇用環境の統一を図り、処遇改善に努めましたが介護職員、特に訪問介護員（ヘルパー）の不足は年間を通じて解消されず事業実績は計画を達成することができませんでした。

一方居宅支援事業はケアマネージャーを増員することができ、前年より利用者を増やすことが出来ました。

通所介護事業ではデイサービス開所から利用者が順調に増加しましたが、下期に利用者の死亡、入院の増加と介護職員の人員不足により計画を下回りました。

取扱高（計画対比）

訪問介護事業 157,669千円（94.3%）

居宅支援事業 23,215千円（103.3%）

通所介護事業 46,464千円（87.3%）

○葬祭事業

今年度、葬祭事業の取り組みとしまして新盆予約会、事前相談会、人形供養祭を開催し多くの組合員利用者に来場頂きました。

事業実績ではしらかわ典礼センター、葬祭センター石川とも昨年以上の施行件数となりました。

供給金額は家族葬等、小規模葬の増加により計画を下回りました。

施行件数実績 302件（前年比106%）

しらかわ典礼センター162件、葬祭センター石川140件

（単位：千円）

種 類		供 給 高
生産 資材	肥料	1,436,001
	農薬	1,057,855
	飼料	545,524
	素畜・種苗	789,015
	農業機械	121,602
	その他	965,310
	小計	4,915,309
生活 資材	食料品	444,177
	自動車	71,444
	燃料	1,432,905
	衣料品	100,731
	耐久消費財	76,798
	日用保健雑貨	138,898
	家庭燃料	155,970
	その他	368,574
小計	2,789,502	
合 計	7,704,811	

販売事業

○米穀

平成28年産米については、27年産米の生産調整達成により需給の改善が見込めるものの、今年産米の作付動向によっては、再び米価下落が懸念されることから需要に応じた米づくりの実践として重要な年となりました。

生育の概況については、生育初期に水不足の影響による莖数不足、生育中期の高温や台風害、収穫期の長雨等の影響もありましたが、概ね順調に経過したことから全国作況で103福島県においても102（やや良）となりました。

全量集荷においては、集荷目標52万俵（主食用米・新規需要米・備蓄米）を目標に取組み50万677俵の集荷をすることが出来ました。特に飼料用米については、JA夢みなみの独自助成を実施したことから前年を上回る取組となり、2年連続で生産調整達成となりました。販売面では、28年産米の販売もほぼ終了し年内に追加払を実施することが出来ました。

○園芸

春野菜は全国的に好天に恵まれ、各産地ともに安定した出荷となった事から、産地リレーがスムーズな展開となりました。ブロッコリーは関東産の切り上がりが高く、全体的な不足感から高値基調で推移しました。梅雨入りも雨が少なく水不足となる地域があり、生育や収量に影響が見られました。6月下旬から低温により東北もの入荷減から、夏秋野菜は高値基調となり7月は更に高値での販売となりました。8月は梅雨明けから好天が続き夏秋野菜が一気に増量となり、東北各産地ともにピークを迎え、過剰入荷となり安値基調で推移しました。9月以降は台風や秋雨前線の影響から降雨が多く、前年を下回る出荷量となり相場は高値基調で推移しました。

秋冬野菜は長雨や日照不足から生育不良により、全体的な入荷減からコウを中心に高騰し、年末まで高値販売となりました。1月中旬には関東や北海道ものが増量傾向となりましたが、相場は強保合で推移しており、2月中旬まで安定した販売となりました。

○畜産

畜産事業の主力の一つである和牛子牛販売については、全国的な頭数減少により年間を通して高値相場となり1頭当たりの平均価格が14万円高と過去に例のない販売がされました。

もう一つの主力の肉牛肥育については、前年の後半よりの高値相場が12月までは良好な販売が続きましたが年明けの1月から4等級でも1kg当たり枝肉単価が2,000円を下回る相場となり、肥育農家にとっては素牛価格の高騰もあり、今後の販売に不安が残る年となりました。

このような中、JAの独自助成事業として震災からの復興を目的として繁殖和牛の生産基盤維持拡大を目指して畜産振興事業に取り組み158頭の増頭が図られました。

また、耕畜連携事業のWCSや飼料米（SGS）の給与に取り組み低コスト経営を推進とJA夢みなみとし第1回の肉用牛共進会や枝肉研究会を開催し生産技術の向上と生産者の交流を図ってまいりました。

○農産物直売所（り菜あん）

多様な農業者の協同活動を通じて、地域農業の振興と出荷協力会員の所得向上に取り組んで参りました。又、値ごろ感・季節感のある品揃えによる売場作りをし、販売促進のための各種イベントを通じ、来店客への農業に対する理解を深め、栽培・防除日誌の100%提出確認と放射能検査を実施し、「安全・安心」の確保とそのPRをしながら営業致しました。

協力会の会員数も25名の新規会員の加入があり、総会員数は12名増加の444名となりましたが、まだまだ加入推進は継続致します。

営業実績では、年間来店客数32万人で、販売金額も総売り上げ高5億4千万円（税抜5億）で前年比108%となり、ほぼ震災前と同等まで回復してきました。

会員商品の実績では秋野菜の高値もあり、税込2億9千万で前年比113%となり全体に占める売上比率も前年より3%アップの54%となりました。

受託販売品		(単位：千円)
種	類	取 扱 高
	米	984,491
蔬	菜	5,619,347
菌	茸	71,768
果	実	585,680
花	卉	165,744
畜	産	3,610,129
加 工	・ 特 産	20,357
合	計	11,057,513
買取販売品		(単位：千円)
種	類	販 売 高
	米	4,028,077
合	計	4,028,077

指導事業

○営農指導事業

平成28年度については、夢みなみ農業協同組合の重点施策として、生産基盤の復興および震災、原発風評対策が挙げられており、具体的な対策として当JA独自助成事業である「地域農業振興支援事業（震災等復興助成）」を実施し、平成28年度の助成金額は40,862千円となり農家所得の増大および経営の安定化を図ってまいりました。

水稻の状況について、8月下旬以降の長雨、日照不足により収量が心配されたが、中通りでの作況指数は102となり前年度並みの収量を確保することができました。

野菜の状況について、園芸品目は旧JAごとに主力品目が違う状況ではありますが、3地区間で栽培技術と営農指導員の交流を図り、重点品目、奨励品目を各地区に普及することにより「農業生産の拡大」に向けた取り組みを優先的に進めてまいりました。特にしらかわ地区の主力品目である春ブロッコリーについては、「1支店1ha運動」を実施し生産拡大に取り組んでまいりました。

GAP第3者認証取得に向けた取り組みについて、「安全・安心な農産物づくり」を実践し、東京オリンピック・パラリンピックに農畜産物を提供するため職員を対象としたGAP講習会を開催し、JGAPに対する意識と知識の共有を図りました。

東京電力原子力発電所事故に伴う損害賠償請求について、原発事故で被害を受けている農家のためJAが窓口となり損害賠償請求を行っており、平成28年度の請求額は、2,694,206千円、支払額2,321,531千円となっております。また、累計請求額は15,631,811千円、累計支払額は14,992,667千円となっております。

(1) 主な事業実績の推移

(単位：千円)

項 目	平成27年度	平成28年度
貯金等残高	67,649,249	178,950,204
貸出金残高	13,604,678	39,867,671
有価証券残高	216,821	3,322,368
長期共済保有高	361,227,956	894,082,801
長期共済新契約高	18,500,003	41,733,944
短期共済新契約（掛金）	823,577	2,048,025
購買品供給高	2,064,892	7,704,811
販売品販売高（受託）	4,239,496	11,057,513
販売品販売高（買取）	1,426,924	4,028,077

(2) 収益の推移

(単位：千円)

項 目	平成27年度	平成28年度
経常収益（事業収益）	6,299,382	11,597,346
信用事業収益	686,043	1,581,999
共済事業収益	697,303	1,730,158
農業関連事業収益	4,209,783	7,056,388
生活その他事業収益	237,007	1,071,833
営農指導事業収入	469,245	156,966
経常利益	294,265	395,180
当期剰余金	195,014	△ 157,633

(注)

- 1 経常収益は各事業収益の合計額を表しています。
- 2 当期剰余金は、銀行等の当期利益に相当するものです。

尚、平成27年度以前の実績数値は旧すかがわ岩瀬農業協同組合のものを記載しております。

(3) 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
1 信用事業資産	176,778,084	1 信用事業負債	182,636,322
(1) 現金	2,496,681	(1) 貯金	178,950,204
(2) 預金	129,622,691	(2) 借入金	1,736,071
系統預金	129,334,755	(3) その他の信用事業負債	1,029,900
系統外預金	287,936	未払費用	96,811
(3) 有価証券	3,322,368	その他の負債	933,089
国債	1,941,660	(4) 債務保証	920,145
地方債	1,380,708	2 共済事業負債	1,705,318
(4) 貸出金	39,867,671	(1) 共済借入金	542,581
(5) その他の信用事業資産	937,548	(2) 共済資金	625,699
未収収益	895,100	(3) 共済未払利息	6,244
その他の資産	42,448	(4) 未経過共済付加収入	520,509
(6) 債務保証見返	920,145	(5) 共済未払費用	10,283
(7) 貸倒引当金	△ 389,023	3 経済事業負債	772,966
2 共済事業資産	552,617	(1) 経済事業未払金	494,380
(1) 共済貸付金	545,063	(2) 経済受託債務	138,648
(2) 共済未収利息	6,292	(3) その他の経済事業負債	139,936
(3) その他の共済事業資産	1,261	4 設備借入金	76,000
(4) 貸倒引当金	0	5 雑負債	631,629
3 経済事業資産	4,753,556	(1) 未払法人税等	133,383
(1) 経済事業未収金	1,422,053	(2) リース債務	9,942
(2) 経済受託債権	210,577	(3) 資産除去債務	14,442
(3) 棚卸資産	2,905,675	(4) その他負債	473,860
購買品	704,548	6 諸引当金	1,465,968
販売品	2,183,977	(1) 賞与引当金	71,064
その他の棚卸資産	17,150	(2) 退職給付引当金	1,297,224
(4) その他の経済事業資産	239,935	(3) 役員退職慰労引当金	79,793
(5) 貸倒引当金	△ 24,686	(4) ポイント引当金	17,885
4 雑資産	1,018,415	7 再評価に係る繰延税金負債	895,838
5 固定資産	9,369,306	負債の部合計	188,184,044
(1) 有形固定資産	9,333,833	(純 資 産 の 部)	
建物	9,866,388	1 組合員資本	10,019,732
機械装置	2,209,627	(1) 出資金	5,279,340
土地	5,000,548	(2) 資本準備金	8,852
リース資産	11,286	(3) 利益剰余金	4,771,598
その他の有形固定資産	1,624,840	利益準備金	2,157,979
減価償却累計額	△ 9,378,858	その他利益剰余金	2,613,619
(2) 無形固定資産	35,473	金融事業基盤強化積立金	599,109
その他の無形固定資産	35,473	JA教育基金積立金	54,600
6 外部出資	7,800,049	施設統合準備積立金	41,000
(1) 外部出資	7,801,283	JA福島信連解散記念地域農業振興積立	51,000
系統出資	7,443,500	施設整備対策積立金	344,000
系統外出資	228,183	経営安定化積立金	721,750
子会社等出資	129,600	被災JA財政支援積立金	42,396
(2) 外部出資等損失引当金	△ 1,234	地域農業振興積立金	63,000
7 前払年金費用	27,515	地域振興基金積立金	37,101
8 繰延税金資産	336,141	当期未処分剰余金	659,662
		(うち当期剰余金)	(△ 157,633)
		(4) 処分未済持分	△ 40,059
		2 評価・換算差額等	2,431,912
		(1) その他有価証券評価差額金	197,853
		(2) 土地再評価差額金	2,234,058
		純資産の部合計	12,451,644
資産の部合計	200,635,688	負債・純資産の部合計	200,635,688

(4) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
1 事業総利益	5,516,142	(17) 冠婚葬祭事業収益	321,833
(1) 信用事業収益	1,581,999	(18) 冠婚葬祭事業費用	191,257
資金運用収益	1,485,266	冠婚葬祭事業総利益	130,576
(うち預金利息)	(737,884)	(19) 福祉事業収益	292,723
(うち有価証券利息)	(39,394)	(20) 福祉事業費用	231,243
(うち貸出金利息)	(624,080)	福祉事業総利益	61,479
(うちその他受入利息)	(83,907)	(21) 旅行事業収益	4,296
役務取引等収益	72,710	(22) 旅行事業費用	603
その他事業直接収益	3	旅行事業総利益	3,693
その他経常収益	24,018	(23) 農用地利用調整事業収益	27,682
(2) 信用事業費用	263,340	(24) 農用地利用調整事業費用	27,354
資金調達費用	133,292	農用地利用調整事業総利益	328
(うち貯金利息)	(126,720)	(25) その他事業収益	245,824
(うち給付補填備金繰入)	(4,006)	(26) その他事業費用	193,563
(うち借入金利息)	(2,565)	(うち貸倒引当金繰入額)	(617)
その他事業直接費用	35,579	その他事業総利益	52,261
その他経常費用	94,468	(27) 指導事業収入	130,740
(うち貸倒引当金戻入益)	(△ 56,772)	(28) 指導事業支出	178,762
信用事業総利益	1,318,659	指導事業収支差額	△ 48,022
(3) 共済事業収益	1,730,158	2 事業管理費	5,227,530
共済付加収入	1,634,691	(1) 人件費	3,580,223
共済貸付金利息	14,106	(2) 業務費	530,983
その他の収益	81,361	(3) 諸税負担金	166,118
(4) 共済事業費用	120,094	(4) 施設費	927,669
共済借入金利息	14,041	(5) その他事業管理費	22,534
共済推進費	89,126	事業利益	288,612
その他の費用	16,926	3 事業外収益	201,578
(うち貸倒引当金繰入額)	(0)	(1) 受取雑利息	8,792
共済事業総利益	1,610,064	(2) 受取出資配当金	71,448
(5) 購買事業収益	7,855,750	(3) 賃貸料	36,654
購買供給高	7,704,811	(4) 償却債権取立益	706
修理サービス料	34,811	(5) 雑収入	83,976
その他の収益	116,128	4 事業外費用	95,009
(6) 購買事業費用	6,884,329	(1) 支払雑利息	2,564
購買品供給原価	6,634,233	(2) 寄付金	2,465
購買品供給費	31,428	(3) 雑損失	89,980
その他の費用	218,668	(うち貸倒引当金繰入額)	(382)
(うち貸倒引当金戻入益)	(△ 18,330)	経常利益	395,180
購買事業総利益	971,420	5 特別利益	65,868
(7) 販売事業収益	5,509,221	(1) 固定資産処分益	28
販売品販売高	4,028,077	(2) 固定資産受贈益	3,209
販売手数料	299,730	(3) 一般補助金	8,961
全袋検査収益	409,677	(4) 受取損害賠償金	51,818
除染作業収益	199,288	(5) その他の特別利益	1,850
その他の収益	572,446	6 特別損失	662,539
(8) 販売事業費用	4,228,597	(1) 固定資産処分損	621
販売品販売原価	3,429,593	(2) 固定資産圧縮損	8,961
販売費	316,641	(3) 減損損失	12,405
全袋検査費用	79,525	(4) 損害賠償関連費用	5,914
除染作業費用	62,835	(5) 退職給付に係る変更差額	625,141
その他の費用	340,002	(6) その他の特別損失	9,496
(うち貸倒引当金繰入額)	(△ 320)	税引前当期損失	201,490
販売事業総利益	1,280,623	法人税、住民税及び事業税	147,973
(9) 保管事業収益	12,126	法人税等調整額	△ 191,830
(10) 保管事業費用	9,106	法人税等合計	△ 43,857
農業倉庫事業総利益	3,019	当期損失金	157,633
(11) 加工事業収益	62,545	当期首繰越剰余金	103,492
(12) 加工事業費用	41,459	土地再評価差額金取崩額	4,150
加工事業総利益	21,086	施設整備対策積立金取崩額	8,100
(13) 直売所事業収益	221,509	地域農業振興積立金取崩額	40,800
(14) 直売所事業費用	184,327	経営安定化積立金取崩額	660,753
直売所事業総利益	37,182	当期末処分剰余金	659,662
(15) 選果場事業収益	234,394		
(16) 選果場事業費用	160,624		
選果場事業総利益	73,770		

3 地域貢献情報

当組合は須賀川市、鏡石町、天栄村、白河市、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町三神地区、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町を事業区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

当組合の資金は、その大半が組合員の皆さまなどからお預かりした、大切な財産である「貯金」を源泉としております。当組合では資金を必要とする組合員の皆さま方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

当組合は、地域の一員として、農業の発展と健康で豊かな地域社会の実現に向けて、事業活動を展開しております。

また、JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービス等を提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や助け合いを通じた社会貢献に努めております。

1 地域からの資金調達の状況

(1) 貯金・積金残高 178,950,204千円

(2) 貯金商品

「スプリングキャンペーン」、「ナツクキャンペーン」、及び「ホクホクキャンペーン」を実施しており、幅広いお客様に好評をいただいております。

2 地域への資金供給の状況

(1) 貸出金残高 39,867,671千円

（うち 組合員 31,337,106千円）

（うち 地方公共団体 5,571,468千円）

（うち その他 2,959,097千円）

(2) 制度資金取扱い状況

農業経営改善と農業の近代化を図る資金として「農業近代化資金」を取り扱っております。（平成29年2月末現在 24,266千円）

(3) 融資商品

特別金利での「教育ローン特別推進」「マイカーローン特別推進」「住宅ローン特別推進」を実施しました。

また、地域農業者に対する資金として「農業経営基盤強化資金(スーパーL資金)」「アグリマイティー資金」等の取扱いと当JA独自の「農家応援資金」の取扱いをしております。

3 文化的社会的貢献に関する事項

(1) 文化的社会的貢献に関する事項

年金受給予定者等を対象とした年金相談会の開催をしております。

各種農業関連イベントや、地域活動への協賛・後援をしております。

(2) 利用者ネットワーク化への取り組み

組合員・地域住民の方を対象とした「JAまつり」を開催しております。

年金友の会会員を対象としたゲートボール大会・グランドゴルフ大会を開催しております。

(3) 情報提供活動

毎月、組合員だよりJA広報誌の発行しております。

(4) 店舗体制

別紙、店舗等のご案内をご参照ください。

4 地域密着型金融への取り組み

(1) 農業者等の経営支援に関する取組方針

○ 担い手担当者を中心とした、担い手農家等に対し確実な訪問活動を実施

○ 農業者等のニーズを捉え、金融を中心とする各種サービスの提供を実施

(2) 農業者等の経営支援に関する態勢整備

○ 信用部門と営農部門との連携による農業者等への経営支援態勢整備の強化

○ 多様化する農業者の金融ニーズに応えるため融資担当者の知識向上のための研修会の実施

(3) 農業者等への支援対応力強化

○ 農業者宅への訪問頻度の向上

○ 農業金融に関する情報提供

○ 農業者の営農計画を踏まえた資金ニーズの的確な把握

○ JAバンク利子助成の効果的な活用

○ 農業資金残高：2,274百万円、融資実績数：184件

4 リスク管理の状況

◇ リスク管理体制

〔リスク管理基本方針〕

組合員・利用者の皆さまに安心してJAをご利用いただくためには、より健全性の高い経営を確保し、信頼性を高めていくことが重要です。

このため、有効な内部管理態勢を構築し、直面する様々なリスクに適切に対応すべくリスク管理体制を整備し、認識すべきリスクの種類や管理体制と仕組みなど、リスク管理の基本的な体系を整備しています。

また、この基本方針に基づき、収益とリスクの適切な管理、適切な資産自己査定の実施などを通じてリスク管理体制の充実・強化に努めています。

① 信用リスク管理

信用リスクとは、信用供与先の財務状況の悪化等により、資産（オフ・バランスを含む。）の価値が減少ないし消失し、金融機関が損失を被るリスクのことです。当JAは、個別の重要案件又は大口案件については理事会において対応方針を決定しています。また、通常の貸出取引については、本店に融資審査部署を設置し各支店と連携を図りながら、与信審査を行っています。審査にあたっては、取引先のキャッシュ・フローなどにより償還能力の評価を行うとともに、担保評価基準など厳格な審査基準を設けて、与信判定を行っています。貸出取引において資産の健全性の維持・向上を図るため、資産の自己査定を厳正に行っています。不良債権については管理・回収方針を作成・実践し、資産の健全化に取り組んでいます。また、資産自己査定の結果、貸倒引当金については「債権の償却・引当基準」に基づき必要額を計上し、資産及び財務の健全化に努めています。

② 市場リスク管理

市場リスクとは、金利、為替、株式等の様々な市場のリスク・ファクターの変動により、資産・負債（オフ・バランスを含む。）の価値が変動し、損失を被るリスク、資産・負債から生み出される収益が変動し損失を被るリスクのことです。主に金利リスク、価格変動リスクなどをいいます。金利リスクとは、金利変動に伴い損失を被るリスクで、資産と負債の金利又は期間のミスマッチが存在している中で金利が変動することにより、利益が低下ないし損失を被るリスクをいいます。また、価格変動リスクとは、有価証券等の価格の変動に伴って資産価格が減少するリスクのことです。

当JAでは、金利リスク、価格変動リスクなどの市場性リスクを的確にコントロールすることにより、収益化及び財務の安定化を図っています。このため、財務の健全性維持と収益力強化とのバランスを重視したALMを基本に、資産・負債の金利感応度分析などを実施し、金融情勢の変化に機敏に対応できる柔軟な財務構造の構築に努めています。

とりわけ、有価証券運用については、市場動向や経済見通しなどの投資環境分析及び当JAの保有有価証券ポートフォリオの状況やALMなどを考慮し、理事会において運用方針を定めるとともに、経営層で構成するALM委員会を定期的に開催して、日常的な情報交換及び意思決定を行っています。運用部門は理事会で決定した運用方針及びALM委員会で決定された方針などに基づき、有価証券の売買やリスクヘッジを行っています。運用部門が行った取引についてはリスク管理部門が適切な執行を行っているかどうかチェックし定期的にリスク量の判定を行い経営層に報告しています。

③ 流動性リスク管理

流動性リスクとは、運用と調達とのミスマッチや予期せぬ資金の流出により、必要な資金確保が困難になる、又は通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされることにより損失を被るリスク（資金繰りリスク）及び市場の混乱等により市場において取引ができないため、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失を被るリスク（市場流動性リスク）のことです。

当JAでは、資金繰りリスクについては、運用・調達について月次の資金計画を作成し、安定的な流動性の確保に努めています。また、市場流動性リスクについては、投資判断を行う上での重要な要素と位置づけ、商品ごとに異なる流動性（換金性）を把握したうえで、運用方針などの策定の際に検討を行っています。

④ オペレーショナル・リスク管理

オペレーショナル・リスクとは、業務の過程、役職員の活動もしくは、システムが不適切であること又は外生的な事象による損失を被るリスクのことです。

当JAでは、収益発生を意図し能動的な要因により発生する信用リスクや市場リスク及び流動性リスク以外のリスクで、受動的に発生する事務、システム、法務などについて事務処理や業務運営の過程において、損失を被るリスクと定義しています。事務リスク、システムリスクなどについて、事務手続を整備し、定期検査等を実施するとともに、事故・事務ミスが発生した場合は速やかに状況を把握する体制を整備して、リスク発生後の対応及び改善が迅速・正確に反映ができるよう努めています。

⑤ 事務リスク管理

事務リスクとは、役職員が正確な事務を怠る、あるいは事故・不正等を起こすことにより金融機関が損失を被るリスクのことです。当JAでは、業務の多様化や事務量の増加に対応して、正確な事務処理を行うため事務手続を整備するとともに、自主検査を実施し事務リスクの削減に努めています。

また、事故・事務ミスが発生した場合には、発生状況を把握し改善を図るとともに、内部監査により重点的なチェックを行い、再発防止策を実施しています。

⑥ システムリスク管理

システムリスクとは、コンピューターシステムのダウン又は誤作動等、システムの不備に伴い金融機関が損失を被るリスク、さらにコンピューターが不正に使用されることにより金融機関が損失を被るリスクのことです。当JAでは、コンピューターシステムの安定稼働のため、安全かつ円滑な運用に努めるとともに、システムの方々の災害・障害等に備えております。

◇ 法令遵守体制

〔コンプライアンス基本方針〕

国内外における社会経済情勢の変化等によりJA夢みなみの運営のあり方そのものが強く問われています。JA夢みなみは協同組合として基本的使命と社会的責任を負っており、法令遵守を他企業以上に徹底することが求められています。そのために徹底した自己規律・自助協力のもと、法令を遵守しディスクロージャーと説明責任を重視した透明性の高い業務運営を行ってまいります。現在、JA夢みなみはコンプライアンスの徹底を目指し、次の事項に取り組んでいます。

- 1 コンプライアンス・プログラムを策定し、コンプライアンス実施計画を明確化しています。
- 2 コンプライアンス統括部署を設置し、体制強化を図っています。
- 3 各部署にコンプライアンス責任者と担当者を選任し、コンプライアンス風土の醸成に努めています。
- 4 コンプライアンスに関する役職員研修を実施し、対応強化を図っています。
- 5 組合員・利用者等からの苦情などに対応する部署を定め、適切に対応します。
- 6 適正な人事ローテーションを実施し、不正の防止に努めています。
- 7 JA内部の不正に対し賞罰委員会の審理を踏まえ、厳正に対処しています。
- 8 情報開示に努め、ディスクロージャー誌を各支店に備えておき、利用者がいつでも情報を入手できるようにしています。

〔コンプライアンス運営態勢〕

コンプライアンス態勢全般にかかる検討・審議を行うため、代表理事組合長を委員長とするコンプライアンス委員会を設置するとともに、コンプライアンスの推進を行うため、本店各部門・各支店等にコンプライアンス担当者を設置しています。

基本姿勢及び遵守すべき事項を記載した手引書「コンプライアンス・マニュアル」を策定し、研修会を行い全役職員に徹底しています。

毎年度、コンプライアンス・プログラムを策定し、実効ある推進に努めるとともに、統括部署を設置し、その進捗管理を行っています。

また、組合員・利用者の皆さまの声を真摯にとらえ、前向きに事業に反映するため、苦情・相談等の専門窓口を設置しています。

◇ 金融ADR制度への対応

① 苦情処理措置の内容

当JAでは、苦情処理措置として、業務運営体制・内部規則等を整備のうえ、その内容を広報誌・チラシ等で公表するとともに、JAバンク相談所やJA共済連とも連携し、迅速かつ適切な対応に努め、苦情等の解決を図ります。

当JAの苦情等受付窓口

(電話：0248-94-2317・2312 (月～金 午前9時～午後6時))

② 紛争解決措置の内容

当JAでは、紛争解決措置として、次の外部機関を利用しています。

・信用事業

福島県弁護士会 (電話：024-534-2334)

①の窓口または福島県JAバンク相談所 (電話：024-553-5559) にお申し出ください。

なお、直接紛争解決をお申し立ていただくことも可能です。

・共済事業

(一社)日本共済協会 共済相談所 (電話：03-5368-5757)

(一財)自賠償保険・共済紛争処理機構 (電話：本部03-5296-5031)

(公財)日弁連交通事故相談センター (電話：本部03-3581-4724)

(公財)交通事故紛争処理センター (電話：東京本部03-3346-1756)

最寄りの連絡先については、上記または①の窓口にお問い合わせ下さい。

◇ 内部監査体制

〔内部監査基本方針〕

内部監査部門を被監査部門から独立して設置し、各部門の業種の健全性及び適切性を確保するため、内部管理態勢が有効に機能しているかの検証と改善を重視した助言・提案を行うとともに、不祥事未然防止に徹底して取り組みます。

内部監査はJAの本店・支店・地区支援センター、子会社等のすべてを対象とし、年度の内部監査計画に基づき実施しています。監査結果は代表理事組合長及び監事に報告したのち被監査部門に通知し、定期的に被監査部門の改善取組状況をフォローアップしています。

また、監査結果の概要を定期的に理事会に報告することとしていますが、特に重要な事項については、直ちに理事会、代表理事組合長、監事に報告し、速やかに適切な措置を講じています。

◇ リスク管理債権の状況

(単位：千円)

区 分	平成27年度	平成28年度	増 減
破綻先債権額	5,400	30,005	24,605
延滞債権額	463,108	593,592	130,484
3ヵ月以上延滞債権額	0	0	0
貸出条件緩和債権額	560	880	320
合 計	469,068	624,477	155,409

※ これらの開示額は、担保の処分等によって回収できるもの及び個別貸倒引当金を引き当てているものを考慮していませんので、将来発生が予想される損失額をそのまま表すものではありません。

(注)

1 破綻先債権

元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していることその他の事由により元本又は利息の取り立て又は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸出金（貸倒償却を行った部分を除く。以下「未収利息不計上貸出金」という。）のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号のイからホまでに掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じているものをいう。

2 延滞債権

未収利息不計上貸出金であって、注1に掲げるもの及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したもののものをいう。

3 3ヵ月以上延滞債権

元本または利息の支払が約定支払日の翌日から3ヵ月以上遅延している貸出金（注1、注2に掲げるものを除く。）をいう。

4 貸出条件緩和債権

債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返却猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取り決めを行った貸出金（注1、注2及び注3に掲げるものを除く。）をいう。

なお、平成27年度以前の実績数値は旧すかがわ岩瀬農業協同組合のものを記載しており、前年対比の増減には合併による増減額が含まれております。

5 自己資本の状況

◇ 自己資本比率の状況

当JAでは、多様化するリスクに対応するとともに、組合員や利用者のニーズに応えるため、財務基盤の強化を経営の重要課題として取り組んでいます。内部留保に努めるとともに、不良債権処理及び業務の効率化等に取り組んだ結果、平成29年2月末における自己資本比率は、14.41%となりました。

◇ 経営の健全性の確保と自己資本の充実

当JAの自己資本は、組合員の普通出資によっています。

○ 普通出資による資本調達額

項目	内容
発行主体	夢みなみ農業協同組合
資本調達手段の種類	普通出資
コア資本に係る基礎項目に算入した額	5,279百万円 (前年度1,997百万円)

当JAは、「自己資本比率算出要領」を制定し、適正なプロセスにより正確な自己資本比率を算出して、当JAが抱える信用リスクやオペレーショナル・リスクの管理及びこれらのリスクに対応した十分な自己資本の維持を図るとともに、内部留保の積み増しにより自己資本の充実に努めています。

また、19年度から、信用リスク、オペレーショナル・リスク、金利リスクなどの各種リスクを個別の方法で質的または量的に評価し、リスクを総合的に捉え、自己資本と比較・対照し、自己資本充実度を評価することにより、経営の健全性維持・強化を図っております。

6 主な事業の内容

(1) 主な事業の内容

〔信用事業〕

信用事業は、貯金、貸出、為替などいわゆる銀行業務といわれる内容の業務を行っています。この信用事業は、JA・農林中金という2段階の組織が有機的に結びつき、「JAバンク」として大きな力を発揮しています。

◇貯金業務

組合員の方はもちろん、地域住民の皆さまや事業主の皆さまからの貯金をお預かりしています。普通貯金、当座貯金、定期貯金、定期積金、総合口座などの各種貯金を目的・期間・金額にあわせてご利用いただいています。

また、公共料金、都道府県税、市町村税、各種料金のお支払い、年金のお受け取り、給与振込等もご利用いただけます。

《総合口座》

出し入れ自由の普通貯金とお利息の有利な定期貯金を1冊の通帳にセット。不意の出費には自動融資。「貯める」「支払う」「借りる」が1冊の通帳で出来る便利いっぱいの口座です。

《普通貯金》

いつでも自由に出し入れでき、各種口座振替にもご利用できます。お財布がわりにまた、家計簿がわりにお使いください。

《普通貯金無利息型（決済用）》

無利息ですが、貯金保険制度により全額保護されます。

《貯蓄貯金》

自由金利時代の新しいタイプの“ちょきん箱”普通貯金より有利な金利であなたを応援します。

《通知貯金》

7日以上余裕があり、まとまった資金の運用を行う際に便利な貯金です。お引き出しの場合は、2日以前にお知らせください。

《定期積金》

目標額をきめて毎月コツコツ積み立てます。教育資金や結婚資金、海外旅行などあなたの夢を実現する「希望」，“夢あるくらしをイキイキ知的に楽しみたい”という女性にすてきな特典、ご優待などがある「味覚定期積金（味美人）」等、気軽に積み立て、夢をかなえてください。

《スーパー定期》

お預け入れ期間は1ヶ月から。3年以上のお預け入れであれば半年ごとの複利計算で断然有利。確定利回りの安心定期。期間いろいろ、ますます便利です。

《期日指定定期》

お預け入れ金額は300万円未満まで。おトクな1年ごとの複利計算で大きく育ちます。1年過ぎれば一部でも払い戻しができます。

《一般財形貯金》

お給料・ボーナスからの天引きによる自由金利の財産形成貯金です。

《財形年金貯金》

積立終了後は年金形式でお受けいただける自由金利の財形です。財形住宅貯金と合算して元利合計550万円まで非課税です。

《財形住宅貯金》

マイホーム取得プランに最適の自由金利の財形です。財形年金貯金と合算して元利合計550万円まで非課税です。

◇貸出業務

農業専門金融機関として、農業の振興を図るための農業関連資金はもとより、組合員の皆さまの生活を豊かにするための生活改善資金等を融資しています。

また、地域金融機関の役割として、地域住民の皆さまの暮らしに必要な資金や、地方公共団体、農業関連産業・地元企業等、農業以外の事業へも必要な資金を貸し出し、農業の振興はもとより、地域社会の発展のために貢献しています。

さらに、株式会社日本政策金融公庫をはじめとする政府系金融機関等の代理貸付、個人向けローンも取り扱っています。

《マイカーローン》

くるまのことなら何でもOK。税金、自動車共済掛金、登録費用のお支払にもお使いいただけます。(最高1,000万円まで)

《教育ローン》

入学金・授業料はもちろん、施設費やアパート入居費用などお子様の教育資金に最高1,000万円までご利用いただけます。

《住宅ローン》

マイホームづくりのお手伝い。住宅の新築・購入・増改築、宅地購入、借換えに最高5,000万円までご利用いただけます。

《リフォームローン》

ご自宅の増築・改築・改装資金として1,500万円までご利用いただける無担保ローンです。

《カードローン》

必要な時にカード1枚で50万円まで。いつでもスピーディーにお役に立ちます。

※ローンは組み合わせによりご利用いただける額に限度がございます。

《日本政策金融公庫(農林水産事業)》

設備資金や農業経営改善資金として、ご利用いただけます。

《日本政策金融公庫(国民生活事業)》

お子様の進学資金として、幅広くご利用いただけます。

《住宅金融支援機構》

マイホームの新築・購入・改装資金にご利用ください。

◇為替業務

全国のJA・信連・農林中金の店舗を始め、全国の銀行や信用金庫などの各店舗と為替網で結び、当JAの窓口を通して全国のどこの金融機関へでも振込・送金や手形・小切手等の取立が安全・確実・迅速にできます。

◇国債窓口販売

国債(利付・割引国庫債券)の窓口販売の取扱いをしています。

◇個人向け国債の販売

個人の方のみが保有できる国債で、これまでの国債に比べて個人の方にとってより購入しやすい特徴を持つ最低クーポン保証付変動金利型国債です。

当JA各店舗においてお取扱いしています。

◇その他の業務及びサービス

当JAでは、コンピュータ・オンラインシステムを利用して、各種自動受取、各種自動支払や事業主のみなさまのための給与振込サービス、自動集金サービスなどを取り扱っています。

また、国債(新窓販国債、個人向け国債)の窓口販売の取扱い、貸金庫のご利用、全国のJAでの貯金の出し入れや銀行、信用金庫、コンビニなどでも現金引き出しのできるキャッシュサービスなど、いろいろなサービスに努めています。

◇手数料一覧

○為替手数料

◆振込手数料

窓 口 利 用	自店宛て		3万円未満	一件につき	108 円
			3万円以上	一件につき	324 円
	当JA本支店宛て (県内・県外系統を含む)		3万円未満	一件につき	216 円
			3万円以上	一件につき	432 円
	他金融機 関宛て	電信扱い	3万円未満	一件につき	540 円
			3万円以上	一件につき	756 円
文書扱い		3万円未満	一件につき	432 円	
		3万円以上	一件につき	648 円	
ATM 利 用	自店宛て		3万円未満	一件につき	0 円
			3万円以上	一件につき	0 円
	当JA本支店宛て (県内・県外系統を含む)		3万円未満	一件につき	108 円
			3万円以上	一件につき	324 円
	他金融機関宛てのもの		3万円未満	一件につき	432 円
			3万円以上	一件につき	648 円
イ ン タ ー ネ ッ ト バ ン ク 利 用	県内・県外系統宛て		3万円未満	一件につき	108 円
			3万円以上	一件につき	216 円
	他金融機関宛て		3万円未満	一件につき	324 円
			3万円以上	一件につき	432 円

(注) 上記金額には、消費税(8%)が含まれています。

◆送金手数料

当JA本支店宛て	一件につき	432 円
他金融機関宛て(電信扱い)	一件につき	864 円

(注) 上記金額には、消費税(8%)が含まれています。

◆代金取立手数料

当JA本支店・県内外系統		一件につき	432 円
他金融機関宛て	至急扱い	一件につき	864 円
	普通扱い	一件につき	648 円

(注) 上記金額には、消費税(8%)が含まれています。

◆両替手数料

両替枚数	手数料
1枚～100枚	0 円
101枚～300枚	108 円
301枚～500枚	216 円
501枚～1,000枚	324 円
1,001枚～2,000枚	648 円
以降1,000枚ごと加算金額	324 円

(注) 上記金額には、消費税(8%)が含まれています。

◆その他の手数料

送金・振込の組戻	一件につき	648 円	(ただし648円を超える取立費用を要する場合はその実費)
取立手形組戻	一通につき	648 円	
取立手形店頭掲示料	一通につき	648 円	
不渡手形返却	一通につき	648 円	

(注) 上記金額には、消費税(8%)が含まれています。

〔共済事業〕

J A共済は、J Aが行う地域密着型の総合事業の一環として、組合員・利用者の皆様の生命・傷害・家屋・財産を相互扶助によりトータルに保障しています。生命保障と損害保障の両方を実施しており、個人の日常生活に潜むリスクに対して、幅広く保障しております。

J A共済は、「ひと・いえ・くるまの総合保障」の提供を通して、組合員・利用者等の毎日の暮らしをバックアップしています。

◇長期共済の種類（共済期間が5年以上の契約）

《終身共済》

一生涯にわたって死亡・第1級後遺障害状態・重度要介護状態の保障をする共済です。特約を付加することにより保障内容を自由に設計することもできます。

○基本タイプ ○中途給付タイプ

《養老生命共済》

一定期間の万一のときの保障と、将来の資金づくりを両立させた「保障」と「貯蓄」の二つの機能を兼ね備えた共済です。

○基本タイプ ○中途給付タイプ

《定期生命共済》

一定期間の万一のときを保障するプランです。手頃な共済掛金で死亡・第1級後遺障害・重度要介護状態を保障する共済です。法人化された担い手や経営者の万一の保障と退職金などの資金形成ニーズに応えるプランもあります。

《がん共済》

一生涯にわたって悪性新生物・脳腫瘍に罹患した場合、その入院・手術等を保障する共済です。がん診断時や再発・長期治療のときは一時金をお支払いします。ニーズに合わせて先進医療保障を加えるなどがん保障を充実させることもできます。

《医療共済》

日帰り入院から長期入院まで、手厚く保障するプランです。また、公的医療保険制度の対象となる手術や放射線治療を保障します。さらに、定期特約、生活保障特約、家族収入保障特約を付加することで、ライフプランに応じた保障を確保できます。

《介護共済》

高齢化社会において、一生涯にわたる要介護状態となったときの資金準備のためのプランです。公的介護保険制度に定める要介護2～5に認定されたとき、また、所定の重度要介護状態（J A独自基準）になられたときに保障されます。

《こども共済》

お子さまの入学資金や結婚・独立資金の準備に最適なプランです。共済契約者（親）が万一のときは、掛金払込みが免除になります。また、満期まで毎年養育年金をお受け取りになれるプランもあります。

○入学祝金タイプ ○大学進学タイプ

《予定利率変動型年金共済》

老後の生活資金準備のためのプランです。医師の診査なしの簡単な手続きでご加入できます。また、最低保証予定利率が設定されているので安心です。

○終身年金タイプ ○定期年金タイプ

《建物更生共済》

火災はもちろん、地震や台風などの自然災害も幅広く保障します。また、満期共済金は、建物の新築・増改築や家財の買替資金としてご活用いただけます。

○建更10型 ○建更10型My家財 ○建更10型営業用什器備品

○建更1型、2型、5型もあります。

◇短期共済の種類（共済期間が5年未満の契約）

《自動車共済》

相手方への対人・対物賠償をはじめ、ご自身・ご家族などの傷害保障（人身傷害保障、傷害給付）、車両保障など、万一の自動車事故を幅広く保障

《自賠償共済》

法律ですべての自動車に加入が義務づけられている、人身事故の被害者への賠償責任を保障します。

《傷害共済》

日常のさまざまな災害による万一のときや負傷を保障します。

《火災共済》

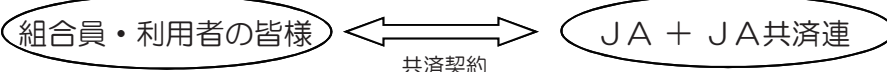
住まいの火災損害を保障します。

《賠償責任共済》

日常生活・業務中に生じた損害賠償義務を保障します。

◇JA共済事業の実施方法

JA共済事業においては、JAとJA共済連が共同で共済者となり共済契約者との間で共済契約を締結しています。JAとJA共済連がそれぞれ役割を担い、組合員・利用者の皆様に密着した生活総合保障活動を行っています。



J A : JA共済の窓口です。

JA共済連 : JA共済事業の企画・開発・資金運用業務や支払共済にかかる準備金の積み立てなどを行っています。

〔営農指導事業〕

コメをはじめきゅうり、果実などの園芸作物の生産及び畜産事業を営む組合員農家のために、生産効率を高めるための技術指導、情報の提供などを行っています。また、青色申告など経営改善のための相談活動も行ってまいります。青年部活動は、管内小学校と田んぼの生きもの調査を実施するなど、担い手及び次世代対策の活動を行っています。

〔生活指導事業〕

組合員の健康と福祉の増進を図り豊かな生活を実現するために、女性部などの組織の協力を得てボランティア活動などを行っています。

〔購買事業〕

農業生産に必要な資材と豊かな生活をおくる物資を共同仕入れし、組合員および地域住民の皆様に供給する事業です。

肥料、飼料、農薬などの農業資材から自動車、家電製品、食料品、家庭用品、家庭用LPGまであらゆる商品を取扱っています。農業資材では資材センターがあり、多くのみなさまにご利用いただいております。

さらに、冠婚事業、葬祭事業、福祉事業、食材宅配、給油所の各事業を行い、利用者のニーズにあった取り組みをしています。

〔旅行事業〕

JAでは、組合員の方々をはじめ地域の皆様の旅行のお手伝いをしてまいります。

国内旅行、海外旅行、個人旅行、団体旅行、何でもご相談に応じます。またこれら以外の企画募集も行ってまいります。

〔販売事業〕

組合員が生産した農畜産物を共同で販売する事業です。主な販売品目は次のとおりです。米、きゅうり、トマト、ブロッコリー、インゲン、その他野菜、菌茸、果実類、花卉、畜産、加工・特産など。

〔利用事業〕

協同で施設をつくり、協同でその施設を利用する事業です。主な農業生産施設には次のものがあります。

水稻育苗センター、ライスセンター、野菜選果場、果実選果場、菌床センター、予冷施設など。

(2) 系統セーフティネット（貯金者保護の取り組み）

当JAの貯金は、JAバンク独自の制度である「破綻未然防止システム」と公的制度である「貯金保険制度（農水産業協同組合貯金保険制度）」との2重のセーフティネットで守られています。

◇「JAバンクシステム」の仕組み

JAバンクは、全国のJA・信連・農林中央金庫（JAバンク会員）で構成するグループの名称です。組合員・利用者の皆さまに、便利で安心な金融機関としてご利用いただけるよう、JAバンク会員の総力を結集し、実質的にひとつの金融機関として活動する「JAバンクシステム」を運営しています。

「JAバンクシステム」は「破綻未然防止システム」と「一体的事業推進」を2つの柱としています。

◇「破綻未然防止システム」の機能

「破綻未然防止システム」は、JAバンク全体としての信頼性を確保するための仕組みです。再編強化法（農林中央金庫及び特定農業協同組合等による信用事業の再編及び強化に関する法律）に基づき、「JAバンク基本方針」を定め、JAの経営上の問題点の早期発見・早期改善のため、国の基準よりさらに厳しいJAバンク独自の自主ルール基準（達成すべき自己資本比率の水準、体制整備など）を設定しています。

また、JAバンク全体で個々のJAの経営状況をチェックすることにより適切な経営改善指導を行います。

◇「一体的な事業推進」の実施

良質で高度な金融サービスを提供するため、JAバンクとして商品開発力・提案力の強化、共同運営システムの利用、全国統一のJAバンクブランドの確立等の一体的な事業推進の取り組みをしています。

◇貯金保険制度

貯金保険制度とは、農水産業協同組合が貯金などの払い戻しができなくなった場合などに、貯金者を保護し、また資金決済の確保を図ることによって、信用秩序の維持に資することを目的とする制度で、銀行、信金、信組、労金などが加入する「預金保険制度」と同様な制度です。

7 店舗等のご案内

○本店

支店（施設名）	郵便番号	住 所	電話番号
監査室	962-0839	須賀川市大町8-5	0248-72-5202
総務部	962-0839	須賀川市大町8-5	0248-72-5211
	962-0839	須賀川市大町8-5	
	962-0839	須賀川市大町8-5	
企画部	962-0839	須賀川市大町8-5	0248-94-2312
	962-0839	須賀川市大町8-5	
	962-0839	須賀川市大町8-5	
	962-0839	須賀川市大町8-5	
審査債権対策室	962-0839	須賀川市大町8-5	0248-72-5218
金融部	962-0839	須賀川市大町8-5	0248-94-2317
	962-0839	須賀川市大町8-5	0248-72-5212
	962-0839	須賀川市大町8-5	0248-72-5206
	962-0839	須賀川市大町8-5	0248-72-5206
	961-8585	白河市弥次郎窪2-9-1	0248-22-5150
共済部	962-0839	須賀川市大町8-5	0248-94-2319
	962-0839	須賀川市大町8-5	0248-72-5207
	962-0839	須賀川市大町8-5	0248-72-5208

○営農経済本店、畜産センター

支店（施設名）	郵便番号	住 所	電話番号
営農部	961-8585	白河市弥次郎窪2-9-1	0248-22-5154
	961-8585	白河市弥次郎窪2-9-1	0248-22-5154
	961-8585	白河市弥次郎窪2-9-1	0248-22-5154
	961-8585	白河市弥次郎窪2-9-1	0248-22-5154
	963-7857	石川郡石川町字当町109-8	0247-26-6264
	963-7846	石川郡石川町字長久保134-1	0247-56-3831
	961-8585	白河市弥次郎窪2-9-1	0248-23-2500
	961-8071	西白河郡西郷村大字真船字蒲日向28	0248-25-2261
	961-0951	白河市中町65-1（中町小路「楽蔵」内）	0248-21-2515
畜産センター	963-7846	石川郡石川町字長久保99	0247-26-2521
経済部	961-8585	白河市弥次郎窪2-9-1	0248-22-5142
福祉課	961-8585	白河市弥次郎窪2-9-1	0248-22-5142
	962-0053	須賀川市鉦町51	0248-63-2311
	〃	〃	0248-72-8490
	963-7808	石川郡石川町大字双里字神主17	0247-26-8882
	961-0092	白河市六反山10-2	0248-27-3443
	961-0051	白河市大鹿島前	0248-21-6191
	961-8585	白河市弥次郎窪2-9-1	0248-22-5142
	963-7857	石川郡石川町字当町109-8	0247-26-3106
	963-7857	石川郡石川町字当町373-5	0247-26-9888
	963-6311	石川郡玉川村大字若法寺字宮の前116-2	0247-37-1766
	961-8585	白河市弥次郎窪2-9-1	0248-24-5850
	961-8585	白河市弥次郎窪2-9-1	0248-24-5850
	961-0011	白河市久田野前田52-6	0248-21-2967
	961-0983	白河市真舟10-3	0248-21-6895

○すかがわ岩瀬地区

支店（施設名）	郵便番号	住 所	電話番号
地区組織対策部	962-0047	須賀川市松塚字赤坂1-1	0248-72-5213
地区営農経済部	962-0047	須賀川市松塚字赤坂1-1	0248-72-5238
	962-0047	須賀川市松塚字赤坂1-1	0248-72-5219
	962-0047	須賀川市松塚字赤坂1-1	0248-72-5219
	962-0512	岩瀬郡天栄村大字飯豊字向原60-3	0248-83-2938
	969-0401	岩瀬郡鏡石町本町151	0248-62-3237
	962-0311	須賀川市矢沢字新田中2	0248-65-2101
	962-0059	須賀川市吉美根字土橋182-1	0248-75-4185
	962-0056	須賀川市大桑原字地山8	0248-76-7125
	962-0122	須賀川市木之崎字西田29	0248-69-1088
東部支店	962-0813	須賀川市和田字谷地50	0248-76-7111
	962-0813	須賀川市和田字谷地50	0248-76-7115
西袋支店	962-0053	須賀川市鉦町51	0248-75-4191
	962-0053	須賀川市鉦町51	0248-76-7138
仁井田支店	962-0042	須賀川市仁井田字鴻ノ目50-1	0248-78-2324
稲田支店	962-0403	須賀川市岩瀬字荒池66-1	0248-62-5101
大東支店	962-0722	須賀川市大東字池ノ久保1	0248-79-3111
長沼支店	962-0201	須賀川市志茂字六角1-1	0248-67-2151
鏡石支店	969-0401	岩瀬郡鏡石町本町296	0248-62-2131
	969-0401	岩瀬郡鏡石町本町296	0248-62-2130
	969-0404	岩瀬郡鏡石町羽鳥295-1	0248-62-7000
岩瀬支店	962-0311	須賀川市矢沢字新田中2	0248-65-2101
天栄支店	962-0503	岩瀬郡天栄村大字下松本字仁之田14	0248-82-2155
	962-0503	岩瀬郡天栄村大字下松本字仁之田14	0248-82-3185
湯本支店	962-0622	岩瀬郡天栄村大字田良尾字宮前79-1	0248-84-2208

○すかがわ岩瀬地区子会社

支店（施設名）	郵便番号	住 所	電話番号
(株)ジェイエイ	962-0056	須賀川市大桑原字地山8	0248-63-1121
サービスすかがわ岩瀬	962-0056	須賀川市大桑原字地山8	0248-63-2528
	962-0014	須賀川市西川町118	0248-76-2235
	962-0122	須賀川市木之崎字西田29	0248-69-1101
	962-0311	須賀川市矢沢字池ノ下4	0248-65-3641
	962-0502	岩瀬郡天栄村大字下松本字要田29-2	0248-82-3501
	962-0622	岩瀬郡天栄村大字田良尾字宮前4	0248-84-2122
	962-0852	須賀川市仲の町154-1	0248-63-7613
	969-0401	岩瀬郡鏡石町本町151	0248-92-3833
	962-0839	須賀川市大町5-1	0248-76-3456
	962-0043	須賀川市岩瀬字荒池66-1	0248-92-3320
	962-0312	須賀川市大久保字室貫26	0248-65-2141
(株)ジェイエイ	962-0053	須賀川市鉦町54	0248-94-5100
あぐりすかがわ	962-0053	須賀川市鉦町54	0248-63-8088
岩瀬	962-0053	須賀川市鉦町54	0248-73-5261
	962-0043	須賀川市岩瀬字荒池66-1	0248-92-3231
	962-0056	須賀川市大桑原字地山8	0248-72-2588
(株)ドリームファームすかがわ岩瀬	962-0047	須賀川市松塚字赤坂1-1	0248-72-5219

○しらかわ地区

支店 (施設名)	郵便番号	住 所	電話番号	
地区組織対策部 地区支援課	961-8585	白河市弥次郎窪29-1	0248-22-5151	
地区営農経済部 担い手支援課	961-8585	白河市弥次郎窪29-1	0248-22-5145	
営農経済課	961-8585	白河市弥次郎窪29-1	0248-22-5147	
	園芸流通センター	961-0106	西白河郡中島村大字二子塚字入江37-1	0248-52-2935
	菌床センター	969-0302	白河市大信隈戸字柿ノ木原6-4	0248-54-5003
	食材センター	961-0983	白河市真舟10-3	0248-22-7345
ふれ愛ひろば・泉崎	969-0102	西白河郡泉崎村大字関和久字漆久保36	0248-53-2211	
白河中央支店	961-8585	白河市弥次郎窪29-1	0248-22-5150	
白河支店	白河支店	961-0901	白河市明戸25-1	0248-27-3151
	五箇営農センター	961-0015	白河市田島明治10-1	0248-29-2106
	白坂営業所	961-0835	白河市白坂5	0248-28-2031
西郷支店	961-0983	白河市真舟10-3	0248-27-1800	
東支店	961-0303	白河市東釜子字狐内66	0248-34-2211	
泉崎支店	969-0101	西白河郡泉崎村大字泉崎字籠37	0248-53-2011	
中島支店	961-0106	西白河郡中島村大字二子塚字吉田33-1	0248-52-3510	
	中島資材センター	961-0106	西白河郡中島村大字二子塚字入江37-1	0248-52-2800
三神支店	969-0245	西白河郡矢吹町白山836	0248-45-2111	
大信支店	969-0308	白河市大信増見字北田27-1	0248-46-2211	

○しらかわ地区子会社

支店 (施設名)	郵便番号	住 所	電話番号
(株)白河フーズ	961-8585	白河市弥次郎窪29-1	0248-31-1122
ライズプラント	961-0102	西白河郡中島村大字滑津字元村198-2	0248-52-3450
(株)JAしらかわサービス	961-8585	白河市弥次郎窪29-1	0248-24-5770
農機自動車整備センター	961-8585	白河市弥次郎窪29-1	0248-22-7861
泉崎給油所	969-0103	西白河郡泉崎村大字北平山字新田原2-1	0248-54-1003
西郷給油所	961-8031	西白河郡西郷村大字米字狐窪22-1	0248-25-6900
(株)JAしらかわアグリ	961-8585	白河市弥次郎窪29-1	
(主たる営業所)	969-0102	西白河郡泉崎村大字関和久字漆久窪36	0248-21-8700

○あぶくま石川地区

支店 (施設名)	郵便番号	住 所	電話番号		
地区組織対策部 地区支援課	963-7857	石川郡石川町字当町109-8	0247-26-3101		
地区営農経済部 担い手支援課	963-7857	石川郡石川町字当町109-8	0247-26-3105		
営農経済課	963-7857	石川郡石川町字当町109-8	0247-26-9571		
	あぶくまグリーンセンター	963-7846	石川郡石川町字長久保99	0247-26-5572	
	食材センター	963-7857	石川郡石川町字当町109-8	0247-26-9668	
	燃料課	963-7857	石川郡石川町字当町109-8	0247-26-3107	
		石田給油所	963-7833	石川郡石川町字石田44-1	0247-26-5580
		玉川給油所	963-6312	石川郡玉川村大字小高字北巖13-1	0247-57-3434
		蓬田給油所	963-8202	石川郡平田村大字上蓬田字銭神19	0247-55-3189
		小平給油所	963-8112	石川郡平田村大字北方字後川76	0247-54-3107
		浅川給油所	963-6218	石川郡浅川町大字東大畑字金田113	0247-36-3410
	農機具センター	963-7833	石川郡石川町字石田46-1	0247-26-3198	
ガスセンター	963-7833	石川郡石川町字石田46-1	0247-26-6057		
石川支店	963-7857	石川郡石川町字当町109-8	0247-26-1135		
	石川営農センター	963-7826	石川郡石川町大字赤羽字葦草39-10	0247-26-8521	
	西部基幹倉庫	963-7826	石川郡石川町大字赤羽字葦草39-10	0247-26-3949	
	ふれあい店 野木沢	963-7837	石川郡石川町大字中野字水内24-2	0247-26-1151	
	ふれあい店 母畑 (元気高齢者施設)	963-7831	石川郡石川町母畑字樋田35	0247-26-2819	
	ふれあい店 中谷	963-7808	石川郡石川町大字双里字神主17	0247-26-2526	
ふれあい店 山橋 (元気高齢者施設)	963-7812	石川郡石川町大字南山形字中野沢95-5	0247-26-1212		
玉川支店	963-6312	石川郡玉川村大字小高字北巖3-1	0247-57-3115		
	玉川営農センター	963-6312	石川郡玉川村大字小高字北巖3-1	0247-57-3883	
	須釜店	963-6302	石川郡玉川村大字南須釜字奥平18	0247-57-3135	
平田支店	963-8202	石川郡平田村大字上蓬田字三斗蒔43	0247-55-3121		
	平田営農センター	963-8112	石川郡平田村大字北方字後川14-98	0247-54-3153	
	東部基幹倉庫	963-8112	石川郡平田村大字北方字後川80-1	0247-54-3153	
	小平店	963-8112	石川郡平田村大字北方字後川75-1	0247-54-3151	
浅川支店	963-6204	石川郡浅川町大字浅川字本町西裏28-2	0247-36-3155		
	浅川営農センター	963-6204	石川郡浅川町大字浅川字本町西裏28-2	0247-36-3156	
古殿支店	963-8304	石川郡古殿町大字松川字新桑原39	0247-53-3121		
	古殿営農センター	963-8304	石川郡古殿町大字松川字新桑原39	0247-53-3121	
	元気高齢者施設 (古殿)	963-8304	石川郡古殿町大字松川字新桑原39	0247-53-4580	

○あぶくま石川地区子会社

支店 (施設名)	郵便番号	住 所	電話番号
(株)JAあぐりサポートいしかわ	963-7857	石川郡石川町字当町109-8	
(主たる営業所)	963-7826	石川郡大字赤羽字葦草39-10	0247-26-6400

○(株)ライフクリエイティブ福島

支店 (施設名)	郵便番号	住 所	電話番号
催事センター石川	963-6204	石川郡浅川町大字浅川字本町西裏102-1	0247-36-1301

○ ATM（現金自動化機器）設置・稼働状況

ATMコーナー名	住 所	稼働状況						備考
		土曜	日曜	祝日	年末	平日	土・日曜日・祝日	
本店	須賀川市大町85	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~19:00	
東部支店	須賀川市和田字谷地50	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~17:00	
西袋支店	須賀川市御町51	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~19:00	2台設置
仁井田支店	須賀川市仁井田字鴻ノ目50-1	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~17:00	
稲田支店	須賀川市岩瀬字荒池66-1	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~17:00	
長沼支店	須賀川市志茂字六角1-1	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~17:00	
鏡石支店	岩瀬郡鏡石町本町296	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~19:00	
岩瀬支店	須賀川市矢沢字新田中2	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~17:00	
天栄支店	岩瀬郡天栄村大字下松本字仁之田14	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~17:00	
湯本支店	岩瀬郡天栄村大字田良尾字宮前79-1	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~17:00	
白河中央支店	白河市弥次郎窪29-1	○	○	○	○	8:00~20:00	9:00~19:00	
白河支店	白河市明戸25-1	○	○	○	○	8:00~20:00	9:00~19:00	
白坂営業所	白河市白坂5	○	○	○	○	8:00~20:00	9:00~19:00	
西郷支店	白河市真舟10-3	○	○	○	○	8:00~20:00	9:00~19:00	
中島支店	西白河郡中島村大字二子塚字吉田33-1	○	○	○	○	8:00~20:00	9:00~19:00	
三神支店	西白河郡矢吹町白山836	○	○	○	○	8:00~20:00	9:00~19:00	
大信支店	白河市大信増見字北田27-1	○	○	○	○	8:00~20:00	9:00~19:00	
石川支店	石川郡石川町字当町109-8	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~19:00	
玉川支店	石川郡玉川村大字小高字北巖3-1	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~19:00	
平田支店	石川郡平田村大字上蓬田字三斗時43	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~19:00	
浅川支店	石川郡浅川町大字浅川字本町西裏28-2	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~19:00	
古殿支店	石川郡古殿町大字松川字新桑原39	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~19:00	

○おさがわ岩瀬地区ATM(現金自動化機器)店舗外設置場所

ATMコーナー名	住 所	稼働状況						備考
		土曜	日曜	祝日	年末	平日	土・日曜日・祝日	
ATM川東	須賀川市小作田字西館96	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~17:00	
ATM資材センター	須賀川市木之崎字西田29	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~17:00	
ATM白方	須賀川市梅田字沖田11-4	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~17:00	
ATM天栄村役場	岩瀬郡天栄村大字下松本字原畑78	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~17:00	

○しらかわ地区ATM(現金自動化機器)店舗外設置場所

ATMコーナー名	住 所	稼働状況						備考
		土曜	日曜	祝日	年末	平日	土・日曜日・祝日	
白河厚生総合病院	白河市豊地上弥次郎2-1	○	×	×	×	8:00~19:00	9:00~17:00	日祝日は利用休止
西郷村役場	西白河郡西郷村大字熊倉字折口原40	○	○	○	○	8:00~20:00	9:00~19:00	
白河市役所東庁舎	白河市東釜子字殿田表50	○	○	○	○	8:00~20:00	9:00~19:00	
泉崎村役場	西白河郡泉崎村大字泉崎字八丸145	○	○	○	○	8:00~20:00	9:00~19:00	
ふれ愛ひろば・泉崎	西白河郡泉崎村大字関和久字漆久保36	○	○	○	○	8:00~20:00	9:00~19:00	
中島村役場	西白河郡中島村大字滑津字中島西11-1	○	○	○	○	8:00~20:00	9:00~19:00	

○あぶくま石川地区ATM(現金自動化機器)店舗外設置場所

ATMコーナー名	住 所	稼働状況						備考
		土曜	日曜	祝日	年末	平日	土・日曜日・祝日	
沢田ATM	石川郡石川町大字赤羽字葦草39-10	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~19:00	
介護センター(中谷)	石川郡石川町大字双里字神主17	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~19:00	
玉川営農センター(須釜)	石川郡玉川村大字南須釜字奥平18	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~19:00	
平田支店小平店	石川郡平田村大字北方字後川75-1	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~19:00	
旧平田村役場前	石川郡平田村大字永田字広町34	○	○	○	○	8:45~20:00	9:00~19:00	

※但し、1月3日及び5月4日については利用休止日となります。

基本理念

- 安心して暮らせる「幸せづくり」を基本とします。
- 地域の「柱」となり、特色ある農畜産物づくりをすすめ、「選ばれるJA」をめざします。
- 地域農業を未来へつなぐ「懸け橋」となります。

ミニディスクロージャー誌2017

－平成29年6月発行－

編集:夢みなみ農業協同組合

〒962-0839 福島県須賀川市大町85番地

TEL : 0248-94-2312 FAX : 0248-72-7801

ホームページアドレス <http://www.ja-yumeminami.or.jp/>

メールアドレス kikaku@ja-yumeminami.or.jp